

2025年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	保健（皮膚科学）
履修学年	1 年	コース	理容科・美容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	保健教員資格、同時授業教員資格
授業時間数	37	事業方法及び場所	教室 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・理容師・美容師とかかわりの深い皮膚・毛・爪について、構造、機能に関する科学的、系統的知識を理容技術、美容技術と関連させながら学ばせる。
- ・皮膚・毛・爪に関する基本的な知識を身につけさせる。
- ・国家試験に合格できる学習能力を習得する。

2. 学習内容

- ・理容、美容との関係について把握できるように学習させる。
- ・教科書の具体的内容を講義していき、理解度を確認できるようノートまとめを行う。

3. 学習方法

- ・小テストの実施
- ・各編において復習のため総合学習を行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・授業への参加を単位認定のための基礎条件とし、学期末テスト（70 点以上であること）により評価する。
- ・学習態度、提出物、小テストで評価する。

教科書	保健（日本理容美容教育センター発行） 美容技術理論 1・美容技術理論 2 理容技術理論 1・理容技術理論 2	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD
-----	--	--------------	------------------

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	皮膚の構造	皮膚の重要性について 皮膚表面の構造を学習する。 表皮・真皮・皮下組織それぞれの機能を理解させる。 皮膚の部位さについて特徴を学習する。 オリジナルプリントの活用
5月	皮膚付属器官の構造	毛・脂腺・汗腺・毛について解剖学的に学習する。 毛の性状とそれを利用した理容・美容技術。
6月	皮膚の循環器系と 神経系	皮膚の血管について理解させる。 皮膚のリンパ管について理解させる。 皮膚感覚として知覚神経と自律神経の働きを学習する。 DVD・オリジナルプリントの活用
7月 9月	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能 総合学習	皮膚の様々な役割について学習する。 学期末テスト 1項～9項までの作用について十分に理解させる。 オリジナルプリントの活用
10月	皮膚と皮膚付属器官 の生理機能	爪のはたらきについて学習する。 毛のはたらきについて学習する。
11月 12月 1月	皮膚と皮膚付属器官 の保健	皮膚のケアを全身に関連した視点で理解させる。 皮膚と体内病変の関係を理解させる。 学期末テスト 子どものおしゃれによる皮膚トラブルについて学習する。
2月 3月	皮膚と皮膚付属器官 の疾患 総合学習	感染症の原因、種類と理・美容所での注意点を学習する。 皮膚の異常と種類について学習する。 学期末テスト